

## ア メ ー バ 赤 痢 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_  
 （署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称 \_\_\_\_\_

上記病院・診療所の所在地 ( ) \_\_\_\_\_

電話番号 ( ) \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_  
 （病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

1 診断（検案）した者（死体）の種類
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体

2 性別	3 診断時の年齢（0歳は月齢）
男 ・ 女	歳 (      月 )

病 型	1 1 感染原因・感染経路・感染地域																									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">1) 腸管アメーバ症</td> <td style="width: 70%; text-align: center;">2) 腸管外アメーバ症</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">4 症 状</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢</li> <li>・腹痛</li> <li>・肝腫大</li> <li>・胸膜炎</li> <li>・その他 ( )</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">5 診 断 方 法</td> <td style="vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡検による病原体の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・ELISA 法による病原体抗原の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・血清抗体の検出</li> <li>・その他の方法 ( ) 検体 ( ) 結果 ( )</li> </ul> </td> </tr> </table>	1) 腸管アメーバ症	2) 腸管外アメーバ症	4 症 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢</li> <li>・腹痛</li> <li>・肝腫大</li> <li>・胸膜炎</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>	5 診 断 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡検による病原体の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・ELISA 法による病原体抗原の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・血清抗体の検出</li> <li>・その他の方法 ( ) 検体 ( ) 結果 ( )</li> </ul>	<p>感染原因・感染経路（ 確定・推定 ）</p> <p>1 経口感染（飲食物の種類・状況： _____）</p> <p>2 性的接触（A.性交 B.経口）（ア.同性間 イ.異性間 ウ.不明）</p> <p>3 その他（ _____）</p> <p>感染地域（ 確定 ・ 推定 ）</p> <p>1 日本国内（      都道府県      市区町村）</p> <p>2 国外（      国      詳細地域 _____）</p>																			
1) 腸管アメーバ症	2) 腸管外アメーバ症																									
4 症 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下痢</li> <li>・腹痛</li> <li>・肝腫大</li> <li>・胸膜炎</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>																									
5 診 断 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡検による病原体の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・ELISA 法による病原体抗原の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・検体から直接の PCR 法による病原体遺伝子の検出 検体：便・大腸粘膜組織・膿瘍液・その他 ( )</li> <li>・血清抗体の検出</li> <li>・その他の方法 ( ) 検体 ( ) 結果 ( )</li> </ul>																									
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">6 初診年月日</td> <td style="width: 20%;">平成</td> <td style="width: 10%;">年</td> <td style="width: 10%;">月</td> <td style="width: 10%;">日</td> </tr> <tr> <td>7 診断（検案( )）年月日</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>8 感染したと推定される年月日</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>9 発病年月日（*）</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>10 死亡年月日（ ）</td> <td>平成</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	6 初診年月日	平成	年	月	日	7 診断（検案( )）年月日	平成	年	月	日	8 感染したと推定される年月日	平成	年	月	日	9 発病年月日（*）	平成	年	月	日	10 死亡年月日（ ）	平成	年	月	日	
6 初診年月日	平成	年	月	日																						
7 診断（検案( )）年月日	平成	年	月	日																						
8 感染したと推定される年月日	平成	年	月	日																						
9 発病年月日（*）	平成	年	月	日																						
10 死亡年月日（ ）	平成	年	月	日																						

（1, 2, 4, 5, 11 欄は該当する番号等を で囲み、3, 6 から 10 欄は年齢、年月日を記入すること。  
 （ ）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。  
 （\*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。  
 4, 5 欄は、該当するものすべてを記載すること。）

この届出は診断から7日以内に行ってください